

うえなえ

Vol.418 2023.3

より充実した 地域医療連携室を目指して

年末に予定をしている新病院移転に伴い、社会医療法人こぶしでは新体制に向けての人事異動を3月より始めました。今号では、その一環としてまず動き始めた地域医療連携室について、医療相談課主任國田精神保健福祉士より報告してもらいました。



本年末の新病院移転を目指して、当法人では建物だけではなく院内の新たな体制づくりも進めている。新病院移転にあたっては「外来支援（地域支援）の強化」と「急性期病棟の安定した運営」を大きな軸としているが、その一環としてまずは「地域医療連携室」をより充実させることとなった。

「地域医療連携室」は新病院移転に向けて新しく立ち上がった部署であり、2022年4月より看護師2名・精神保健福祉士（以下PSWと表記）1名でスタートした。これまで新患受診・入院相談、更に千歳こぶしクリニック閉院に伴う外来フォローなどを行ってきた。一方、新病院移転が2023年末になる

見通しが立ったことで新病院に対応した組織作りを進めていくこととなり、その第一弾が今回の「地域医療連携室」の役割をより明確にしていくことである。

主な変更点としては、

- ① 受診・入院相談といった相談業務を地域医療連携室PSWが担当する。
- ② 外来の新患インテークを地域医療連携室PSWが担当する。
- ③ このため、3月1日付で地域医療連携室PSWを2名体制にする。

の3点である。

①については、これまでも地域医療連携室が担当していたが、医療相談課も並行して担当していたため相談窓口として一部に混乱が見られていた。また病院移転に伴い当法人の外来は本院＋サテライトクリニックの複数体制から新病院に集約されることとなる。当法人にとって大きな課題である「安定した組織作りと外来（地域）支援の充実」のため、「外来支援」と「入院支援」を分けて体制化し、地域医療連携室と医療相談課の「役割を明確化」した。これにより地域連携室は外来受診や入院相談といった問い合わせにより対応しやすくなり、同時に医療相談課PSWは入院（退院）支援に集中しやすくなることを目指している。

②については、これまで医療相談課PSWが担当していたが、今回の「外来（地域）支援の強化」のため相談業務を中心とする地域連携室PSWが新患インテークも担当するように変更した。これにより相談から外来受診の流れがスムーズとなり、より手厚い外来対応が可能となる。

③は、この体制作りのため急性期病棟である第5病棟を担当していたPSWを地域連携室に異動させ、相談から外来受診だけではなく入院になった場合にも、病棟や医療相談課PSWといった他部署との橋渡し役を担ってもらい、その後の入院治療や退院支援といった流れをいっそうスムーズに進められるようにした。

ただ、上記のように地域医療連携室と医療相談課の役割や機能の明確化はするものの、PSWひとりひとは患者さんやご家族・関係機関の方々との関係性を大事にしながら支援を進めてきたという経過もある。そのためサポート的な位置づけではあるが、医療相談課もこれまでどおり個別の相談業務は継続していく予定である。

移転スケジュール（予定）

<2023年>

10月 新病院完成

11月 引越

12月 ウトナイ病院開院

ウトナイ病院通信

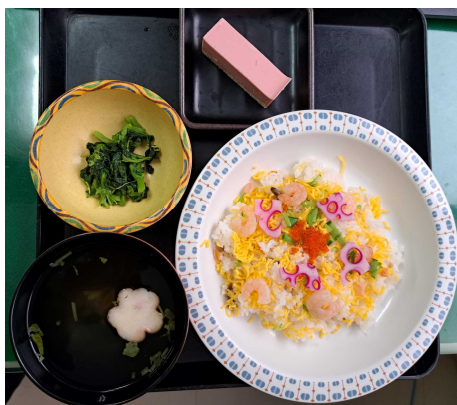
第4回 引越し

この『うえなえ』が発行される頃には、ウトナイ病院は4階が出来上がり5階に取り掛かっている頃ではないかと思います。ついこの間ヒアリングで間取りなどを確認していたような気がするのですが、時間が経つのが早くて驚きですね。

病院移転まで一年を切り、建築だけではなく引越しの準備も行わなくてはならなくなりました。そこで植苗病院では引越しのリーダーを決め、11月下旬に予定している病院大移動に向けてのプロジェクトがついに動き出しました。

移転までの大きな流れですが、まず引越し業者による現状調査が行われます。その後、調査を基に移転プランが作成され、各部署と調整・リハーサルなどを行い、当日はチームこぶしでウトナイ病院へと移動します。文章にすると簡単ですが、病院の移転は通常であれば1年から1年半ぐらい前から、引越しの準備を通常の業務と並行しながらしなくてはならず、とても大変な作業になると思われます。私もリーダーからお願いされる前に自分の持ち物の整理をしないといけないのかなと思いながら、机にある沢山の物を眺めています。まずは紙の物をどうにかして減らすことから始めます。

活動報告



ひなまつりメニュー（植苗病院）

3月3日お昼の給食はひなまつりメニューでした。可愛い色合いのちらし寿司と菜の花の和え物、ストロベリーケーキ。一足先に春を楽しめる食事となりました。



年末のことになるのだが随分久しぶりに中高時代の同級生と酒席を共にする機会を得た。お互いに歳を重ねてすっかり爺さんになっていたが、10代を共にしているとあれこれその後のことなど話さずとも基本的な土台を共有している感じでなんとも心地良い時間であった。他の二人は一般企業で働いてきており、仕事を通して見る今の世界や日本のことを話してくれたのだが、新聞もテレビもあまり

見ていない僕にはそれって何？それってどうゆうこと？と尋ねなければついていけない話題が多々あった。帰ってきてからニュース番組などを見ていると、その時二人が話していた半導体などの話が良く出てきて、まさにホットな現在進行形の話であったのだと思い返され、彼らはこういう現代の最前線でものを考え見て来ているのだと感心させられたのであった。我が身を振り返ると人との会話は診察場面での日常的なことが殆どであり、自分の世界像はそこを通して形成されてきたのだと改めて考えさせられるものがあった。所詮人はそれぞれ自分の生きてきた軌跡を通してしか世界を見られないものなのだろう。僕は患者さんや彼らを取り巻く人々と作り上げてきた世界像をこれからも大切にしていきたいと思っている。

(M.K)



お知らせ ①

◆ 千歳こぶしクリニックをご利用されていた皆様へ ◆

2022年2月に千歳こぶしクリニックが閉院してから一度も植苗病院の受診をされていない方は、新年度の2023年4月から新患の予約が必要になりますので、ご注意ください。

なお、3月までに来院をする予定の方は、できる限り事前の連絡をお願いいたします。



お知らせ②

◆ 外来変更のお知らせ ◆

2023年4月より 植苗病院金曜日午前の精神科外来が休診となります。外来をご利用されている皆さまには大変ご不便をお掛けいたしますがよろしくお願いいたします。ご不明な点がございましたら植苗病院受付にご確認ください。

	月	火	水	木	金
午前	高木※ 川 並	阿 部	高 木	高 塚	—
午後	—	阿 部	高 木	高 塚	—

※は予約制です。



病む人と出会い
病む人を支え
病む人に学ぶ

発行
社会医療法人こびし広報委員会
苫小牧市字植苗52-2
TEL:0144-58-2314
<http://www.uenae-hp.or.jp/>



キハ85系「ひだ」

〈後記〉

春は出会いと別れの季節ですね。卒業、進学、新社会人などいろいろあると思いますが、3月18日JRのダイヤ改正でHC85系の置き換えによりキハ85系「ひだ」が定期運航を引退します。

(K.K)